

# 委員会の動き

議会には3つの常任委員会のほか、議会運営委員会、広報特別委員会が設置されています。ここでは、常任委員会の活動内容を紹介します。

## 総務 文教

### 音更高校の間口維持 タブレット貸与を町に要請

11月16日に音更高校を視察し、学校側との意見交換を行った。生徒の授業を参観し、校内を見学。3年間の学びを自分で組み立てられる単位制の授業を行っているっており、主体的に学

び、生徒の自主性の成長を促すシステムになっている。この単位制により、農業科目20単位を修得すると農業高校と同じ推薦がとれるなどのメリットもあり、進学にも力を入れている。また、探求活動を重視した取組もしている。委員会として令和4年度の3間口維持に向けて、高校の魅力をどう発信できるか情報交換をしながら関わっていききたいなどの意見が出された。

令和4年度、新学習指導要領の改定により、新1年生から一人一台のタブレット端末が必要になることから、無償貸与する方針を固め町へ要請した。引き続き音更高校の3間口を維持するための議論を続ける。

### 農村環境改善センター 郷土資料室改修へ

11月26日、音更町農村環境改善センターの郷土資料室リニューアルの現地調査を行った。通史展示を基本とし、学識経験者からのアドバイス、指導を受け整備を進めている。2回のリニューアルを予定し、令和5年3月完成予定。幅広い年代の方

## 経済 建設

11月1日、令和4年4月移転開業予定の新道の駅おとふけを現地調査した。新道の駅は、「食と体験を基に人々が賑わい、交流を行う拠点施設」を目指しており、地元の農畜産物



親しまれる郷土資料室へ

が足を運んでくれるような憩いの場となるようにとの思いが各委員からも意見として出た。町を多くの方に知って

いただく新たなスポットとなるよう委員会としても活発な発信をしていく。

### 「なつぞらのふる里」 工事の進捗状況を確認

を味わう充実した飲食コーナーとして飲食店7ブース、ベーカリー、カフェが出店する。ピアニ配置し、演奏会等のイベントも開催できる広々とした休憩コーナーや充実した

キッズコーナーができる。建物の柱や梁、休憩コーナーに配置される約200脚の椅子には、十勝大雪森林組合の協力を得て町有林から切り出したカラマツの集成材が使用されて



夢と期待がふくらむ新道の駅

いる。道の駅の機能として重要な24時間利用可能なトイレは、充分な広さと設備を有しており、防犯カメラの位置や数等についても検討されたことを確認。駐車場は駐車マスの幅が広く利用しやすい。

### 町名モニタリング SNSを意識

国道に面してアルファベットで表記した町名のモニタリングは

SNS等での発信を意識したものである。なつぞらエリアの進捗状況、子ども遊び場スペース、道の駅北側広場、なつぞら公園に整備された都市間バス発着場やトイレ棟の整備状況も確認した。

道東及び十勝の玄関口として、訪れる全ての人に音更町の魅力を発信できる道の駅になることを期待する。

## 民生

### 音更霊園に合同納骨塚 令和4年10月供用予定

11月26日、音更霊園内に整備する合同納骨塚の予定箇所を現地調査した。霊園南側に位置する小高い丘の約400平方メートルの土地に、令和4年10月供用開始の予定。収容埋蔵数は3千体、カロート(地下納骨)方式で、石碑と納骨を行う収納部が建つ計画である。利用対象者の条件や使用料等は、令和4年度に条

例で決められる。

委員からは、町民から要望の多い施設であり、霊園内の景観への配慮、スロープの通路もあるなど評価する意見があった。

### 感染対策専門家 講演と現地指導

新型コロナウイルス感染症対策アドバイザー派遣事業について、担当課から説明を受け、事業の成果を調査した。

事業は、学校・保育施設・介護サービス事業所・十勝川温泉旅館・老人クラブ連合



町民要望の多い合同納骨塚の整備へ

会・地域交流サロンを対象に北海道医療大学の石角講師からリモートや来町による講演と現地指導があった。その内容は、感染対策やプール、合唱・体育授業、体調不良児の環境づくり、カラオケ実施の対策など各施設の質問に対する助言・指導などである。

委員からは、温泉旅館での現地指導や各施設の不安に助言をもらい、専門家から感染防止の正しい知識を得てまん延防止に繋がるなどの意見があった。